令和3年度　事務事業評価調書

施策名：本道活性化のための科学技術の振興　／　施策コード：05132

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④宮ロ業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
－　対応が不要

【見直し結果（S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	令和3年度 執行体制 事業費（千円）	うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)	重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
1209			一般	研究開発推進事業費(科学技術振興計画推進費)		「北海道科学技術振興条例」の基本計画となる「北海道科学技術振興計画」に基づく科学技術の振興に関する施策の推進等	科学技術振興課		4,887	4,887	5.2	0.0	5.2	45,499		拡充	本道の科学技術を振興するにあたって、Society5.0など未来技術を道民へわかりやすく説明し、認識を深める必要がある。													・北海道Society5.0を推進し、未来技術を活用した産業振興を図るため、「北海道Society5.0」の実現に向けた研究開発の推進や道民意識の醸成は重要であることから、取組の一層の推進を検討すること。 ・普及啓発事業における啓発資材のペーパレス化・電子化やオンライン開催によるCO2削減や啓発対象の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	拡充					・北海道科学技術振興条例に基づく施策の推進にあたり、北海道Society5.0の実現に向けた研究開発の推進や道民意識の醸成に努める。 ・普及啓発を行う際には、可能な限りオンライン化を検討するとともに、イベントへの協力・後援などを行う場合にも、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0推進の観点から助言等を行う。 ・国、大学、試験研究機関、その他団体等との会議、打合せにあたっては、オンライン会議を積極的に導入することで、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0を推進する。
	1		一般	科学技術理解増進事業	②				209	209			0.0	209				－	④	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	2		一般	産学官金の協働による推進体制整備	②				1,164	1,164			0.0	1,164				－	④	②	会議開催、外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	会議開催、外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	会議開催、外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	3		一般	北海道科学技術振興計画推進事業	②				666	666			0.0	666				－	④	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	4		一般	地域ネットワーク構築支援事業	②				346	346			0.0	346				－	④	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	5		一般	地域産学官連携推進事業費	②				900	900			0.0	1,400				－	④	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	外部との打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	6		一般	知的財産戦略本部調整費	②				70	70			0.0	70				－	④	②	会議開催にあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	会議開催にあたり、オンラインの活用を検討	○	②	会議開催にあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	7		一般	地域版ワンストップサービス事業（知的財産戦略の地域展開）	④				428	428			0.0	428				－	④	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討	○	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	8		一般	道有特許権等維持管理費	－				54	54			0.0	54				－		－		－		－		－	－									
	9		一般	科学技術ふれあい推進費	①				1,050	1,050			0.0	1,050				－	②③④	②	イベントにおいて省エネルギーや次世代自動車の利用を引き続き促進するとともに、開催にあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	イベントにおいてSosiety5.0に沿った取組を引き続き促進するとともに、開催にあたり、オンラインの活用を検討	○	②	イベント開催にあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
1210			事務	科学技術振興課総合調整等業務	－	課職員の管理・監督、議会事務、対外調整及び企画に関する事務、科学技術審議会に関する事務、各種表彰事務、その他課の庶務に関する事務等	科学技術振興課		0	0	3.0	0.0	3.0	23,430		現状維持	引き続き、科学技術振興に係る総合調整等の事務を継続する必要がある。	－	－	－		－	－	－		－	－		－	－						現状維持					
1211			一般	研究開発推進事業費（リサーチ&ビジネスパーク整備推進事業費）		産学官連携による研究開発から事業化までの一貫したシステムの構築等を、北大をはじめ全道の主要地域で推進。（独）中小機構が北大キャンパス内に設置したインキュベーション施設を活用し、大学発ベンチャー企業等の創業や育成を支援	科学技術振興課		13,071	13,071	3.0	0.0	3.0	36,501		現状維持	引き続き、産学官連携による食・健康・医疫関連分野の研究開発を支援するため、R＆BPの整備を推進する。													・北海道Society5.0を推進し、未来技術を活用した産業振興を図るため、「北海道Society5.0」の実現に向けた研究開発の推進は重要であることから、取組の一層の推進を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持					・補助事業及び委託事業の実施にあたり、北海道Society5.0の観点から、相談者等に対し助言するなど、北海道Society5.0の実現に資する事業内容とするよう努める。 ・補助金の交付又は委託事業の実施にあたり、補助・委託先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示する。
	1		一般	北大R＆BP推進事業	－				1,600	1,600			0.0	1,600				－	－	－		－	－	－		－	－									
	2		一般	サテライト・ステージ運営事業費負担金	－				300	300			0.0	300				－	－	－		－	－	－		－	－									
	3		一般	インキュベーションマネージャー（IM）の配置	②				6,500	6,500			0.0	6,500				－	④	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
	4		一般	入居者への資料補助	②				4,671	4,671			0.0	4,671				－	④	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	⑥	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討	○	②	打ち合わせにあたり、オンラインの活用を検討							○	○	○	
1208		05131	一般	科学技術振興推進事業費補助金（研究開発支援事業費補助金）		産学官が連携して行う基礎的研究・応用研究・実用化研究に対する支援	科学技術振興課		27,955	27,955	0.2	0.0	0.2	29,517		現状維持	引き続き、科学技術振興推進事業を継続する必要があるため。													・北海道Society5.0を推進し、未来技術を活用した産業振興を図るため、「北海道Society5.0」の実現に向けた研究開発の推進は重要であることから、取組の一層の推進を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持					・補助事業の実施にあたり、北海道Society5.0に資する研究開発かどうかを評価の基準に入れるなど、本道の取組が推進されるよう努める。 ・補助金の交付にあたっては、補助先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の趣旨を踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示する。
	1	05131	一般	スタートアップ研究補助金	②				13,000	13,000			0.0	13,000				－	④	②	環境負荷の低減のため、オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討	○	⑥	②	オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討	○	②	オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討							○	○	○	
	2	05131	一般	発展・橋渡し研究補助金	②				10,000	10,000			0.0	10,000				－	④	②	環境負荷の低減のため、オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討	○	⑥	②	オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討	○	②	オンラインによる打ち合わせや電子による報告等の導入を検討							○	○	○	
	3	05131	一般	事務費	⑦				4,955	4,955			0.0	4,955				－	－	－		○	－	－		○	①	今年度の事業募集においてオンライン申請を活用、事業採択においてもオンライン審査を活用									
1212			一般	研究開発推進事業費（知的所有権センター事業費）	②	道内中小企業等に対し、開放特許等の流通や特許情報の活用を支援することにより、新事業、新産業の創出を図るため、北海道知的所有権センターを運営	科学技術振興課		7,500	7,500	0.1		0.1	8,281		改善（指標分析）	コロナ感染防止を図りつつ、本道経済の活性化を図るため、オンラインによる相談を活用するなどして特許流通を促進していく必要がある	－	④	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討	－	⑥	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討	○	②	相談実施にあたり、オンラインの活用を検討						会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	改善	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い相談件数が減少したが、今後の本道経済活性化に向けて同センターが特許流通の促進において果たす役割は大きいことから、引き続き、適切な運営に努める。	○	○	○	委託事業の実施にあたり、委託先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の趣旨を踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示する。
1213			事務	北海道産学官共同研究拠点に関する事務	－	産学官試作・実証研究センターの円滑な事業運営に関する関係団体との調整	科学技術振興課				0.1		0.1	781		現状維持	引き続き、センターの円滑な事業運営に関する関係団体との調整事務を継続する必要がある。	－	－	－		－	－	－		－	－							現状維持					

【見直し区分】
①普及啓発 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等
⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進 ②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進 ④3Rの推進による廃棄物の削減 ⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
ー 対応が不要

【見直し結果(S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で「②今回見直しを検討」を
選択した検討結果
○見直し対応 △検討継続

令和3年度

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	事務事業方向性 (B)	理由及び今後の対応 (C)
1214			一般	地域活性化雇用創造プロジェクト事業費（市場動向対応型研究開発支援事業費）		産学が共同で取り組む市場動向を反映させた商品化などに関する研究開発の最終フェーズを支援	科学技術振興課		13,558	2,712	0.1		0.1	14,339		終了	今年度で予定の事業期間が終了するため。
	1		一般	専門家チーム会議	②				1,154	231			0.0	1,154			
	2		一般	テスト商品の開発	②				3,000	600			0.0	3,000			
	3		一般	市場動向把握手法相談対応	②				8,653	1,731			0.0	8,653			
	4		一般	テスト商品の出展	②				650	130			0.0	650			
	5		一般	事務費	②				101	20			0.0	101			
1215			一般	地方創生対策推進費（食関連産業省力化促進事業費）	②	道内大学、研究機関の先端技術を農業など食関連産業に導入し、スマート化するための産学官連携体制を整備するとともに、事業化プロジェクトの取組を促進	科学技術振興課		35,040	17,520	0.2		0.2	36,602		終了	今年度で予定の事業期間が終了するため。
1216			一般	研究開発推進事業費（産学官連携型感染防止策調査研究事業費）	②	「新北海道スタイル」を踏まえた感染リスク低減の推進を図るため、産学官連携による生産現場等における経済活動と両立した感染予防に資する事例の調査・研究等に対して支援	科学技術振興課		3,000	0	0.1		0.1	3,781		終了	今年度で予定の事業期間が終了するため。
計								0	105,011	73,645	12.0	0.0	12.0				

整理番号	枝番	Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	視点 (E)	見直し状況 (F)	理由 (G)	Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	視点 (I)	見直し状況 (J)	理由 (K)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	見直し状況 (M)	内容 (N)	Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	対応状況 (P)	二次政策評価 意見	ACTION 結果への対応（令和4年度） 次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	Ⅱ Society 5.0 (T)	Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
1214															会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了					委託事業の実施にあたり、委託先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の趣旨を踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示したところ（令和3年度で事業終了）
	1	ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討						○	○	○	
	2	ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討						○	○	○	
	3	ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討						○	○	○	
	4	ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討						○	○	○	
	5	ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討						○	○	○	
1215		ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○	○	補助金の交付にあたり、補助先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の趣旨を踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示したところ（令和3年度で事業終了）
1216		ー	④	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	ー	⑥	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討	○	②	今年度の事業実施において、打ち合わせのオンライン活用を検討			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○	○	補助金の交付にあたり、補助先に対しゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進の趣旨を踏まえ、効率的に事業を実施するよう指示したところ（令和3年度で事業終了）

■令和４年度　新規事業